

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 登別市街区公園等清掃交付金事業
-------------------	------------------------------

区分	番号	名称						
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち						
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる						
施策	1	快適な住環境づくり						
小分類	1	身近な公園・緑地等の創出と保全						
主要な施策	1	みどりの基本計画に基づく公園再整備の推進						
事務事業番号	001	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">事務事業コード</td> <td>42111001</td> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">事業開始年度</td> <td>平成 6 年度</td> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	42111001	事業開始年度	平成 6 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	42111001	事業開始年度	平成 6 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	登別市街区公園等清掃交付金事業
------	------	------------	-----------------

部 名	都市整備部	グループ名	都市計画・公園 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 街区公園や広場を安全で快適に利用できるよう、地域住民の協力のもと、適正な維持管理を行う。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 街区公園や広場は、その地域の身近な憩いの場として利用されることから、維持管理の一部を町内会等に協力してもらい、その協力に対して交付金を交付する。  ・主な業務 ~ 草刈、清掃、巡回 ・交付金額 ~ 1カ所当たり 5,000円~15,000円
成果	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 地元町内会が清掃や草刈りを行うことにより公園や広場を大切にするという意識が高まってきているとともに、巡回による情報を即時に得ることができ、事故等の未然防止に役立っている。
根拠法令等	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> 登別市街区公園等清掃交付金取扱要領

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	交付対象町内会数	町内会	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	40	/	/	/	/
	交付対象公園数	カ所	目標値	54	54	54	54	54
			実績値	54	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	640	640	640	640	640	1,920
合 計			640	640	640	640	640	1,920
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	366	375			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		366	375			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 公園や広場の維持管理への協力に対する交付金の交付は、管理者である市が実施することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 地元町内会が清掃や草刈りを行うことにより公園や広場を大切にするという意識が高まってきているとともに、巡回による情報を即時に得ることができ、事故等の未然防止に役立っている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 本事業の継続実施により、成果を向上させることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 本事業を維持しつつ、「登別クリーン＆フレッシュ事業」への移行を図ることにより、コスト削減は可能である。

担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	地元町内会が清掃活動等を行うことにより、公園や広場を大切にするという意識が高まるとともにコスト的にも低いこと、また町内会に定着している事業であることから、「登別クリーン＆フレッシュ事業」への移行も視野に入れながら、本事業を維持していく必要がある。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）